



お仏壇の飾り方

真言宗

保存版

入門 真言宗



真言宗をおこしたのは、弘法大師と呼ばれていた空海です。空海はいまから約千二百年前、平安時代のお坊さんですが、「弘法も筆のあやまり」のことわざにもなっているように筆の達人でもありました。



空海はまた社会事業に活躍したことで知られているんだよ。日本最初の大学といわれる綜芸種智院を設立しましたし、技師として四国の瀧濃池を修築するなど、さまざまな土木事業を指導しました。



唐にわたって密教を学んだ空海の活動の舞台となったのは、高野山の金剛峯寺、京都の東寺です。密教では、宇宙が大日如来と呼ばれる仏そのものであるとします。そして、空海は仏の前では人間は平等であり、大日如来と一体になって修行すれば、だれでも仏になれる、と説きました。



こうした空海の教えはその後、貴族だけではなく庶民の間にも広がり今日まで続いているわけだよ。

これから説明するお仏壇の正しい飾り方の前にまず、宗祖と教義についてお話ししましょう。



- ◆宗祖
弘法大師（空海）（774～835）
- ◆宝号
南無大師遍照金剛（なむたいしへんじょうこんごう）
- ◆総本山

| | | |
|---------|-------|---------|
| 高野山真言宗 | 金剛峯寺 | 和歌山県高野町 |
| 真言宗山階派 | 勤修寺 | 京都市 |
| 真言宗善通寺派 | 善通寺 | 香川県善通寺市 |
| 真言宗醍醐派 | 醍醐寺 | 京都市 |
| 真言律宗 | 西大寺 | 奈良市 |
| 真言宗泉涌寺派 | 泉涌寺 | 京都市 |
| 東寺真言宗 | 教王護国寺 | 京都市 |
| 真言宗大覚寺派 | 大覚寺 | 京都市 |
| 真言宗御室派 | 仁和寺 | 京都市 |
| 真言宗智山派 | 智積院 | 京都市 |
| 新義真言宗 | 根来寺 | 和歌山県岩出町 |
| 真言宗豊山派 | 長谷寺 | 奈良県桜井市 |
- ◆教義
真言とは仏の真の言葉、それを心と体で体得し即身成仏を説く教え。すべての仏教は欲望を絶つことを説いていますが、煩惱即菩薩、現実の世に仏になることを教えています。
- ◆教典
大日経・金剛頂経・理趣経・般若心経

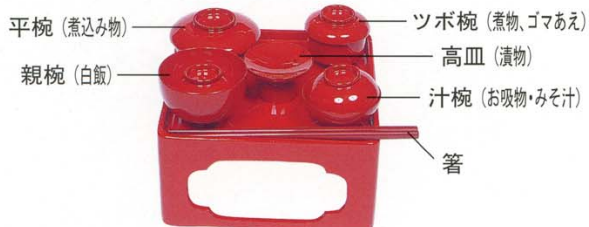
しい飾り方です。



お仏壇の名称と使い方

●お仏膳椀

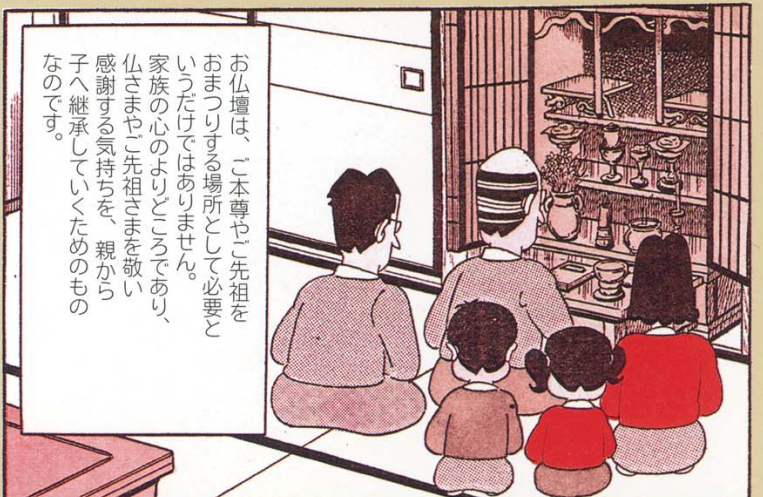
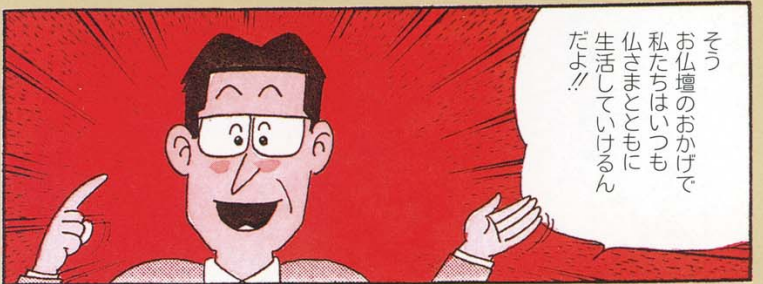
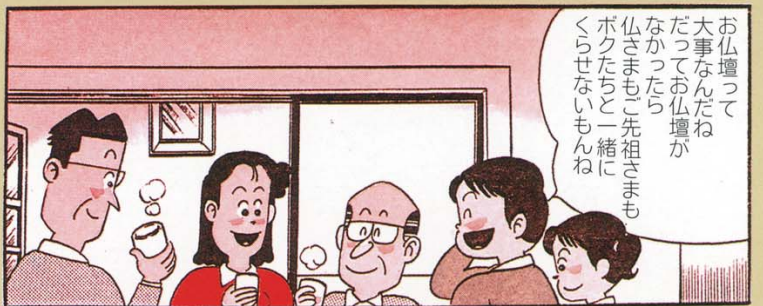
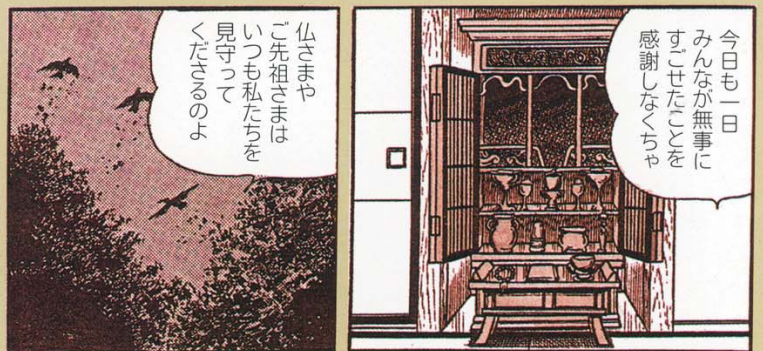
みほとけ、ご先祖さまに精進料理をお供えするときに使うものです。お供えは生きている人と同じように真心こめて、お給仕致します。



※地方により並べ方が異なる場合がございます。

お仏壇は家族の心のよりどころ

お仏壇のある暮らし - 吉田家の場合



あなたのお家のお仏壇は正しい飾り方がなされていますか
右の写真と照らし合せて正しい飾り方を心がけましょう。



- ① 〓本尊 (こほんぞん)
真言宗の〓本尊は大日如来です。
- ② 脇侍 (わきじ)
〓本尊に向かって右側に弘法大師のお掛軸、または木像をおまつりします。
- ③ 脇侍 (わきじ)
〓本尊に向かって左側に不動明王のお掛軸、または木像をおまつりします。
- ④ 吊灯籠 (つりとろうろう)
お宮殿の両側に一対つるし、〓本尊のお姿を明るく照らすために用います。
- ⑤ 瓔珞 (ようらく)
仏像の頸(くび)や腕、ひじ、脚などを飾る珠玉や貴金属で編んだ装身具のことですが、宮殿の装身具として使われます。省略されることもあります。
- ⑥ 仏器 (ぶつき)
お仏飯を盛る器をいいます。朝のおつとめの前にお供えし、正午にはお下げいたします。普段は一つでよいが、丁寧な場合は三つまでお供えします。
- ⑦ 茶湯器 (ちやとうき)
お茶、お湯、お水をお供えする器で、普段は一つでよいが、丁寧な場合は三つまでお供えします。

- ⑧ 打敷 (うちしき)
装飾用の長方形の織物です。昔お釈迦様のお座所を飾ったといわれています。お正月・お盆・彼岸・報恩講・年忌法要などの重い法要の時のみ用います。
- ⑨ 高坏 (たかつき)
〓仏前の左右においてお菓子や果物をお供えします。足の高いお皿にあたるものです。
- ⑩ 五具足 (ごくそく) または 三具足 (みつぐそく)
燭台・花瓶・香炉のことを三具足と呼びます。五具足の場合は燭台・花瓶が一対ずつになります。
- イ 燭台 (しょくだい)
ローソク立のことです。正式には一対でお飾りします。ローソクの光は、如来の智慧の光を象徴するものです。ローソクの光に、すべての人の心の闇を照らし出し、救済しようとはたらきかけておられる如来の心を感じたいものです。
- ロ 花瓶 (かひん)
花瓶は、古来インドで香水を入れるのに用いた花瓶をかたどってあります。生花または金蓮華をお飾りします。
- ハ 玉香炉 (たまこうろう)
香をたく器です。
- ⑪ 香盒 (こうごう)
お香を入れる入れ物です。
- ⑫ お位牌 (おいはい)
お位牌は、亡くなった人の戒名(かいみょう)や死亡年月日を記して、お仏壇におまつりする、いわば個人のシンボル(象徴)に当たるものです。白木の野位牌は、四十九日までに塗りの本位牌をつくり、忌明けからは本位牌をお仏壇におまつりします。五十回忌が過ぎたら祖霊に合祀されるとよいでしょう。本位牌を新たに仏壇におまつりする時は、開眼法要(かいげんほうよう)といってお寺のお坊さまに入魂のお経をあげていただきます。

- ⑬ 過去帳 (かこちょう)・過去帳台 (かこちょうだい)
過去帳は、亡くなった人の戒名(かいみょう)や俗名・死亡年月日などを記しておく記録帳です。
- ⑭ 靈膳 (れいぜん)
法要などで一汁三菜の精進料理を仏さま・ご先祖さまにお供えするときに使うものです。靈膳は料理を盛り付けましたら仏前に箸が向く様にお膳をまわしてお供えします。靈膳は法事・命日・盆・彼岸・お正月などに供えます。
- ⑮ 前香炉 (まえこうろう)
お線香立のことです。お線香は、仏様の前に出るときに心身とも清浄にするためのものです。少量でも、良質のものを使いましょう。
- ⑯ 鈴 (りん)
チーンと打ちならすカネの音は八万四千のほのけの世界に届きます様に念を込めて鳴らします。また人々の邪念を払うと共に、読経の時に打つ事が指示されている重要な荘厳具であります。
- ⑰ 撥 (ばち)
鈴を打つ棒で、おつとめの時以外は鈴の中に正面を向けておきます。
- ⑱ 鈴台 (りんたい)
鈴を置く台を鈴台といえます。
- ⑲ 木魚 (もくぎょ)
木魚は、読経用の打楽器です。表面に玉鱗(いしな)二頭の竜頭(りゅうとう)を彫ってあります。魚は常に目を開けているので、それにちなみ怠惰をいましめるために魚板を叩いたことから、変形して木魚になりました。
- ⑳ 経机 (きょうづくえ)
お経の本や香炉あるいは鈴を置く机のことです。

お仏壇の飾り方は、お仏壇の形式・サイズ・お仏具の種類及び地方の習慣により異なる事があります。必ず当店にお問合せ下さい。

これだけは知っておきたい 真言宗のQ & A

日常礼拝の
しかたを
教えて下さい。



①朝起きたら

お仏壇を掃除し、
お灯明をともし線
香や仏飯・茶湯を
お供えします。線
香は三本供えます。



②リン

まず、リン(カネ)
を打ちます。



③合掌・礼拝

姿勢を正して合掌
礼拝します。
「光明真言」か「南
無大師遍照金剛」
の宝号を唱えます。



④到来物のお供え

いただきものをし
たら、お仏壇へお
供えする習慣をつ
けましょう。



⑤就寝前に

寝る前にも合掌礼
拝し、火元を確認
して扉を閉じます。



お数珠とその
かけ方について
教えて下さい。

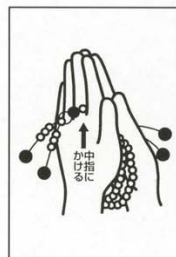


念珠は大切な法具ですから、家族ひとりひとりが、かならず持ちましょう。自分にふさわしい、あまり粗末でない品をえらぶことが大切です。

●真言宗の数珠



●かけ方



年中行事は
どんなものが
ありますか



●正御影供

弘法大師ご入定の日、三月二十一日に大師の御尊像(御影)を前に行われる法会です。毎月二十一日を御影供といい、昔から「お大師さまの日」として、人々は大師参りをしています。

●仏生会

お釈迦さまがお生まれになった四月八日に、そのご誕生をお祝いする行事で、お花まつりといえます。

●大師誕生会

大師ご誕生の六月十五日に行われるお祝の法会です。

●報恩講(十二月十二日)

〈仏壇、仏具、神具、寺院用具、墓石〉

創業百余年
佛壇の升谷

本店 秋田市大町一丁目4-37
(仏壇・寺院用具) 電話 018(824)3181
石材部 秋田市寺内神屋敷70
(墓石展示場) 電話 018(863)8284



◆全国優良仏壇専門店会加盟店◆